

松戸市とJAGES共同研究案

—地域包括ケアの都市型介護予防モデルの開発—

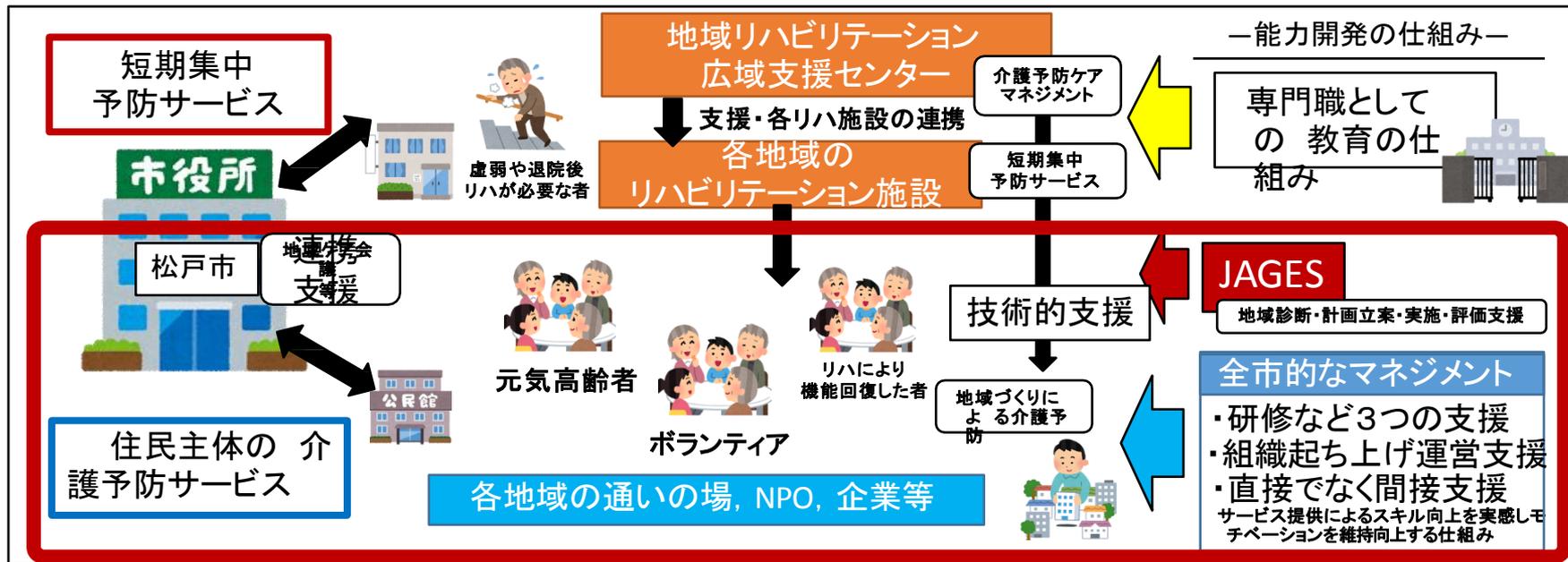


国立長寿医療研究センター
— 千葉大学予防医学セン
ター—

近藤克則

『JAGES松戸プロジェクト』の位置づけと特徴

2016年11月2日 JAGESプロジェクト千葉大事務局



<位置づけ> 住民主体の介護予防サービスの開発支援と評価研究: の部分

<特徴> 地域包括ケアの都市型モデルを開発し全市へ展開→全国に標準モデルを発信

- 地域包括ケアモデル: 介護予防を中核とするが、対象は高齢者に限定しない。
- 全市的なマネジメント支援と評価: 直接支援ではなく間接支援
- 3つの支援内容と2つの対象: ①研修と②ネットワーキングと③評価を既存+新規の両者に
- 都市の資源活用: 住民やNPOだけでなく企業や退職者などにも活躍の場を提供
- 重層的支援と評価: 対象は個人・グループ・企業・地域など
- 評価でPDCA回す: 個人・プログラム・地域のニーズやプロセス, 介護予防効果を評価

JAGES松戸プロジェクトの位置づけと特徴

<位置づけ>

- 住民主体の介護予防サービスの開発支援と評価に関する松戸市と千葉大学予防医学センターの共同研究
 - JAGES千葉大事務局と松戸市の共同研究でニーズ・介入支援方法・効果まで評価研究
 - 中核は元気高齢者の介護予防: 虚弱高齢者は地域リハ, 医療介護連携で
 - 日本医療研究開発機構(AMED) 長寿科学研究開発事業(2015.10.15--2018.3.31)「地域づくりによる介護予防を推進するための研究」のモデルプロジェクト

<特徴>

- 人口48万人の松戸市で『都市型モデル』を開発し全市へ展開→全国に標準モデルを発信
 - 急増する高齢者が活躍できる地域づくりを間接支援
 - 全市的マネジメントでモデルエリアから15エリアに展開
 - プロトコール(手順書)や評価方法の標準モデルを開発し全国に発信(1期2年間で, 数期を見込む)

JAGES松戸プロジェクトの7つの特徴

1. 都市型モデル

- 高齢者が急増する都市部に普及可能なモデルづくり
- 補助金に頼らない持続可能なモデル

2. 地域包括ケアモデル

- 介護予防を中核とするが、対象は高齢者に限定しない。多世代協働モデルや小児への支援も提案

3. 全市的なマネジメント支援と評価

- (全エリアに手が届かなくなる)直接支援ではなく、住民等担い手への間接支援
- 依存を生まないエンパワメント支援

4. 3つの支援内容と2つの対象

- ①研修と②ネットワーキングと③評価を、a)既存とb)新規の両者に

5. 都市の資源活用

- 住民やNPOだけでなく、都市に多い企業や退職者などにも活躍の場を提供
- 地縁だけに頼らず志縁も活用し、来る者拒まず去る者追わず

6. 重層的支援と評価

- 支援と評価の対象は個人・グループ・企業・地域など重層的

7. 評価でPDCA回す

- 個人・プログラム・地域のニーズやプロセス、介護予防効果を評価

JAGES松戸プロジェクトの間接支援内容

3つの支援内容と2つの対象への重層的支援

2つの対象

①既存

3つの支援内容

②新規

3つの支援内容

研修

ネット
ワーキング

評価

個人

グループ・NPO・団体・町内会組織・企業

町内会・15圏域・全市

重層的
支援